

広報 もっと身近に もっと知りたい

2025

4

April

とくべつ



【特集】

令和7年度 予算編成の概要
教育予算編成の概要
当初予算の概要

…p.2

【現代を生きる】

北島 澄玲 さん

…p.9

【今月の表紙】 詳細はp.28

町民劇団Colos^{カローズ}による公演
「2025年のクニさん」

令和
7年度

予算編成の概要

令和7年第1回当別町議会定例会で、新年度の予算編成の概要および教育予算編成の概要が後藤町長、三澤教育長からそれぞれ述べられましたので、その内容をお知らせします。

戦略プランⅠ 産業力の強化 ～しごとの創生～

企業誘致推進プロジェクト 商工業活性化プロジェクト

- 医療大跡地の利活用を含めたPRや企業誘致セミナーに参加し、新たな誘致対象となる企業を発掘する。
- 企業誘致パンフレットをリニューアルし、英語版も作成する。
- 医療大移転による町内居住や消費減少対策として、町内アパートやマンションへの転居にインセンティブを提供する。
- 商店街の活性化を図るため、空き店舗を活用した新たな店舗・事務所開設を支援する。
- 「とうべつ EZOCA」やキャッシュレス決済サービスを活用した消費活性化事業を支援する。



農業 10 年ビジョン推進プロジェクト

- 花卉共選施設における自動選別機の導入実証や AI による経営改善手法の実証など、農業の DX に取り組む。
- 地域おこし協力隊制度の活用や農業総合支援センターと連携した担い手対策の一層の強化を図る。
- 6 次産業化の研修会や商談会を開催し、農業者と飲食店や加工業者との連携を強化する。
- 新たに 6 次産業化に取り組む農業者に対し、施設や機械の導入支援を実施する。

再生可能エネルギー利用プロジェクト 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクト

- 環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、太陽光発電や木質バイオマス、地中熱利用などの再生可能エネルギー設備導入の支援を継続して実施する。
- 環境に取り組む町内外の企業との連携による当別町ならではの環境イベントを実施する。
- 林業事業者への林業機械の導入支援を継続し、新規林道の作設、測量用ドローンと AI による画像解析システムを活用したスマート林業を推進する。

道の駅プロジェクト

- 道の駅とうべつの新規来場者の呼び込みと滞在時間を延ばす取り組みとして、ドッグランを新たに整備する。
- 施設の老朽化や各種設備の更新時期に合わせた、計画的な修繕整備を実施する。

戦略プランⅡ 人を呼び込むまちの再生 ～魅力の創生～

新しいまちの顔づくりプロジェクト

- ロイズタウン駅からロイズ工場間におけるレベル 4 での自動運転バスの実証運行を補助金を活用して実施する。



駅周辺再開発プロジェクト

- 新庁舎建設に向けて、建設場所や建設手法などの検討を進める。
- 町営住宅の移転補償および解体を進めるほか、民間アパート等の活用に向けた検討を進める。

移住促進プロジェクト

- 通学費助成制度を継続して実施し、子育て世帯の負担軽減を図る。
- 首都圏や札幌圏を中心に効果的なプロモーションを実施し、当別町の認知度や知名度の向上を図る。

公共交通活性化プロジェクト

- 「ふれあいバス」について、一部デマンド化による便数の確保と移動手段の維持を図り、また、観光客の移動手段としての利用を図るため、路線を再編し、利用者の利便性の向上を図る。
- 交通事業者の運転手確保に対し支援を行い、持続可能な公共交通の実現に努める。

観光資源の活用・創出プロジェクト

- 当別町観光協会と連携し、新たな観光コンテンツの造成やバスツアーの誘致を実施する。
- 観光パンフレットの多言語化によるインバウンド対策を実施する。
- 北海道観光機構などとの連携による町外での観光プロモーションを実施する。

戦略プランⅢ 未来を担う子どもの育成 ～ひとの創生～

小中一貫教育推進プロジェクト

- ICT教育環境を整備し、「NEXT GIGA」へ移行し、主体的・対話的で深い学びの授業改革を推進する。
- とうべつ学園のエアコン設置工事や西当別小学校および西当別中学校のトイレの洋式化、西当別小学校の教室改修など教育施設の環境改善を進める。
- 学校給食に対する物価高騰対策を行い、必要な量や栄養バランスを維持した給食の提供に努める。



子育て世帯応援プロジェクト

- 乳児の1か月児健診の支援や産後ケア事業の拡充を図る。
- 「当別町こども計画(とうべつこども HIRARI 計画)」に基づき、基本目標に沿った主要施策を展開する。
- 公園遊具の整備・充実を目指し、「あいあい公園」の複合遊具を更新する。

戦略プランⅣ 住み続けたいまちの形成 ～まちの創生～

災害に強いまちづくりプロジェクト

- 除排雪事業者への貸与機械として、ロータリー除雪車を1台購入し、除排雪体制の強化を図る。
- 近年増加する、集中豪雨や局所的な大雨による水害から住民を守るため、トヨベリ川の浚渫工事を実施する。
- 国や北海道、警察、消防など関係機関と連携し、災害時に必要な備蓄品を計画的に整備する。

- 親子防災キャンプや防災セミナーを実施し、災害時に必要な知識や技術の習得を支援する。



地域・在宅医療確保対策プロジェクト

- 人材紹介料や広告宣伝費に関する経費の一部の助成を行い、介護人材の確保に向けた支援に取り組む。

地域福祉推進プロジェクト

- 「フレイル予防教室」を継続し、高齢者の健康や生活支援に取り組む。
- 带状疱疹ワクチンの予防接種費用に対する助成を行い、接種者の負担軽減を図る。
- 障がいのある方に対して、事業所までの交通費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、継続した就労機会の確保による社会参加を促す。



戦略プランⅤ デジタル基盤の構築

～デジタル田園都市「Tobetsu DIGI town」の創生～

自治体 DX の推進

- 庁内会議や議会などでの資料のペーパーレス化や「文書管理システム」、「RPA」、「チャット GPT」を始めとするデジタルツールの積極的な活用を推進する。
- 生成 AI の活用に関心を持った職員を「生成 AI エバンジェリスト」として任命し、本格導入に向けた検証を進める。
- 「電子申請システム」や「施設予約サービス」などを活用し、住民との接点となる手続きにおいて DX を推進する。
- 町公式ホームページの情報検索機能に生成 AI を新たに活用し、自然言語による質問や回答が可能となるほか、音声による照会や外国語による検索にも対応する。



教育予算編成の概要

施策の展開

学習指導

- 児童生徒の一人一台端末を更新し、主体的・対話的で深い学びの充実に取り組む。
- 学力向上推進講師や支援員・介助員を複数名配置し、当別型複数指導体制の充実を図る。
- 「とうべつ未来学」等を活用し、子どもたちが文化・芸術に触れる機会を増やす。

生徒指導

- いじめの未然防止、不登校支援等、多様化する児童生徒への指導の充実を図る。
- 道のスクールソーシャルワーカー派遣事業を活用しつつ、学校や家庭からの相談を聞き、関係機関とつなぐ「心のコーディネーター」を配置する。
- 仮想空間（メタバース）を活用した道の事業と連携し、子どもたちの多様な学び場や居場所づくりの拡充を図る。
- 校内・外の教育支援センターや WEBQU 等の活用を進め、不登校等により「学びにアクセスできない児童生徒ゼロ」を目指す。
- 外国人児童生徒の受け入れ体制を整備し、学校と連携した組織的な対応を進める。

地域と共にある学校・生徒指導

- 家庭・地域との連携・協力による体力向上に向けた取り組みにより、生涯にわたって心身の健康を保持増進、豊かなスポーツライフを実現する力を身につけさせる。

- 中学校における部活動の地域展開に向け、『『未来を拓く9年間』の地域クラブ活動』として運営体制の整備を進める。
- コミュニティスクールの機能の更なる充実を図り、全ての子どもたちの健やかな成長と学びの充実を図る。
- 地元食材の活用促進や姉妹都市の食材を使った「とべっこランチ」を継続し、新たに食材値上がり分を補助する物価高騰対策を行う。

生涯学習の推進

- 「ことぶき大学」の開催など生涯学習プログラムを継続して実施する。
- 本や図書館に親しむイベントを充実させ、新たにエアコンを整備して利用者環境の改善を図る。

文化・芸術・スポーツの推進

- 文化公演事業の開催や文化協会活動支援を行う。
- 指定管理施設に西当別コミュニティーセンターの運営管理を加え、すべての町民が身近にスポーツに触れる環境づくりを推進する。



歴史伝承と郷土愛の醸成

- 当別の歴史について理解を深め、郷土を愛し誇りに思う気持ちを醸成するため、子どもの学び場を創出する。
- 古文書等の解析を進め、当別の歴史を未来に継承する取り組みを進める。
- 歴史学習講座を開催し、町民の歴史学習の機会を創出する。

地域の教育力の向上

- 地域学校協働本部の更なる活用から「放課後学習会」「土曜教室」「イングリッシュプロジェクト」などにおける地域ボランティアの活躍の場を広げる。

施設整備等

- とうべつ学園のエアコン設置工事や西当別小学校および中学校のトイレの洋式化を進める。
- 西当別小学校のOA室の改修を行い、広い教室として使用できる様にする。
- とうべつ学園プールろ過装置更新工事を実施する。

令和7年度 当初予算の概要

() 内は前年度との比較

当別町各会計予算

207 億 4,399 万円 (+ 15 億 7,972 万円)

会計名		令和7年度予算	令和6年度予算	対前年比増減	増減率
一般会計		139 億 1,359 万円	125 億 5,055 万円	13 億 6304 万円	10.9%
特別会計	国民健康保険	22 億 867 万円	21 億 3,993 万円	6,874 万円	3.2%
	介護保険	17 億 4,351 万円	16 億 6,690 万円	7,661 万円	4.6%
	介護サービス事業	6,871 万円	6,679 万円	192 万円	2.9%
	後期高齢者医療	3 億 2,307 万円	3 億 1,286 万円	1,021 万円	3.3%
水道事業会計		9 億 494 万円	9 億 4,104 万円	- 3,610 万円	- 3.8%
下水道事業会計		15 億 8,150 万円	14 億 8,620 万円	9,530 万円	6.4%
合計		207 億 4,399 万円	191 億 6,427 万円	15 億 7,972 万円	8.2%

当別町一般会計予算

139 億 1,359 万円 (+ 13 億 6,304 万円)

歳入

町税 15.2% 21 億 1,085 万円
町民税や固定資産税など (+ 1 億 4,017 万円)

地方交付税 27.5% 38 億 2,495 万円
国から交付される依存財源 (+ 5,088 万円)

使用料及び手数料 0.9% 1 億 2,669 万円
施設使用料等の利用者負担分 (- 85 万円)

国庫支出金 13.1% 18 億 2,060 万円
国からの補助金など (+ 7 億 1,055 万円)

道支出金 5.4% 7 億 5,233 万円
道からの補助金など (+ 5,603 万円)

寄附金 16.5% 23 億 90 万円
ふるさと納税寄付金など (- 10 万円)

繰入金 9.4% 13 億 651 万円
基金 (町の貯金) からの補足分 (+ 1 億 6,457 万円)

繰越金 0.4% 5,000 万円
前年度予算の残額 (0 円)

町債 4.8% 6 億 7,060 万円
銀行等からの借り入れ (+ 2 億 5,310 万円)

その他 6.8% 9 億 5,016 万円
財産収入や補助金収入など (- 1,131 万円)

歳出

議会費 0.6% 8,192 万円
議会の運営費 (- 773 万円)

総務費 24.1% 33 億 4,983 万円
庁舎管理、税務、企画事業 (+ 3 億 5,833 万円)

民生費 20.3% 28 億 2,027 万円
高齢者福祉や児童福祉事業 (+ 3 億 3,855 万円)

衛生費 4.0% 5 億 5,399 万円
ごみ処理や保健衛生事業 (- 1 億 1,627 万円)

農林水産業費 3.8% 5 億 3,565 万円
農業振興や農地、山林の整備 (- 6,432 万円)

商工労働費 0.9% 1 億 2,981 万円
商工振興、観光事業 (- 859 万円)

土木費 16.6% 23 億 1,296 万円
道路や公園の整備・管理、除雪 (+ 4 億 708 万円)

消防費 4.2% 5 億 8,048 万円
消防活動、救急救命 (+ 3,812 万円)

教育費 5.6% 7 億 7,666 万円
学校の維持管理、社会教育事業 (+ 4,167 万円)

公債費 6.6% 9 億 1,895 万円
町債 (町の借金) の返済 (+ 6,111 万円)

職員費 13.3% 18 億 4,806 万円
職員の人件費 (+ 3 億 1,509 万円)

その他 0.0% 501 万円
災害復旧費、予備費 (0 円)



児童扶養手当・特別児童扶養手当の額が改定されます

令和7年4月から各種手当が次のとおり改定されます。

児童扶養手当		
手当の区分	改定前	改定後
児童扶養手当（全部支給）	4万5,500円	4万6,690円
児童扶養手当（一部支給）	所得に応じて 4万5,490円～ 1万740円	所得に応じて 4万6,680円～ 1万1,010円
児童2人目 以降の加算額	所得に応じて 1万750円～5,380円	所得に応じて 1万1,030円～ 5,520円

▼問合せ 保健福祉課福祉係（ゆとり内・☎23 - 3019）

特別児童扶養手当		
手当の区分	改定前	改定後
特別児童扶養手当1級	5万5,350円	5万6,800円
特別児童扶養手当2級	3万6,860円	3万7,830円
特別障害者手当	2万8,840円	2万9,590円
障害児福祉手当	1万5,690円	1万6,100円

▼問合せ 介護課障がい支援係（ゆとり内・☎25 - 2665）

ごみ袋無償交付の対象を3歳未満の乳幼児のいる世帯まで拡充します

町では子育て世帯を応援するため、乳幼児のいる世帯へ1か月につき1人当たりおむつ用ごみ袋（20リットル袋）10枚を配布していますが、4月から交付対象世帯の範囲を拡充します。

▼対象 令和4年5月1日以降に生まれた乳幼児がいる世帯（4月下旬までに引換書を送付します）

▼配布場所 ゆとり、西当別支所

▼問合せ 保健福祉課福祉係（ゆとり内・☎23 - 3019）

巡回児童相談を実施します

18歳未満のお子さんの発達の遅れ、療育手帳の判定などの相談をお受けします。定員は2名程度です。

▼日にち 7月22日（火）

▼場所 ゆとり

▼相談員 北海道中央児童相談所 児童福祉司・心理判定員

▼申込期限 4月25日（金）

▼申込み先・問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとり内・☎25 - 2658）

広 告

広 告

広 告

学校支援地域ボランティアを募集しています

町内の子どもたちの教育を、地域ぐるみで支援するためのボランティアを募集しています。

▼ボランティア内容

- ・授業支援（水泳・ミシン学習・柔道・スキーなどの指導補助）
- ・学習支援（土曜教室・放課後学習会などの指導）
- ・部活動支援（部活動、クラブ活動の指導補助）
- ・環境整備（図書室の整理、校舎の修理、花壇整備など）
- ・学校安全支援（登下校の通学路の安全指導、見守り活動など）
- ・学校行事支援（学芸会や文化祭、運動会などの準備手伝い）

▼申込み先・問合せ 地域学校協働本部（社会教育課内・☎ 22 - 3834/FAX : 23 - 3114）

オンラインでの給食交流会を初開催

宮城県の大崎市と締結した姉妹校提携の一環で、給食を通じた交流が2月25日にオンラインで行われました。参加したのは町内3校と大崎市の岩出山小学校と岩出山中学校の合わせて5校。初めての実施となるこの交流では、両市町の郷土料理や地場産品を使った互いの料



理を味わいながら、各学校の伝統行事の紹介や学校の自慢、児童生徒会で力を入れて取り組んでいる活動などを発表し合いました。



大崎市
笹かまの
磯辺揚げ

大崎市から
贈られた
お米



広 告

子育て支援センターからのお知らせ

子育てに関する講座や講習会、育児相談などを行っています。申込みが必要な場合がありますので、各ホームページを確認いただくか、問合せください。

▼対象 0歳から就学前の子どもと保護者・妊娠中の方

▼時間 平日 9時～14時

あそびのひろば（当別地区）

▼内容 絵本の読み聞かせ・わらべうた、成長記念プレート

▼問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとり内・☎ 25 - 2658）



町ホームページ

おとぎキッズ（太美地区）

▼内容 園内探検、おはなしの会、絵本の読み聞かせ、ヨガ、成長記録

▼問合せ 認定こども園おとぎのくに（☎ 26 - 2353）



おとぎのくに
ホームページ



図書館からのお知らせ



新着図書

当別町図書館【一般書 35冊、児童書 29冊】

・「深淵のテレパス」（一般書）上條 一輝

・「そういうゲーム」（児童書）ヨシタケ シンスケ

当別町図書館西当別分館【一般書 24冊、児童書 26冊】

・「D'TOPIA」（一般書）安堂 ホセ

・「ノラネコぐんだん おりがみパンやさん」（児童書）
いしばし なおこ / 工藤 ノリコ

▼西当別分館業務時間の変更 17時～21時までの間は、閲覧のみ可能（貸出不可）

▼問合せ 当別町図書館（☎ 23 - 0573）、当別町図書館西当別分館（☎ 26 - 3300）

広 告



ありがとうの感謝の気持ちは、言葉にしてこそ

この「ありがとう ころむ」も今回が最終号となります。ご一読いただけたことに心より感謝いたします。

皆さん、どうしてコラムの題名が「ありがとう」なのか？ 昨年6月発行の第1号では、学校で勤務していた時から発行していたお便り「ありがとう通信」にちなんでとお伝えしました。さて、「ありがとう」の言葉を使うようになったその由来は？ 実は我が家でのある出来事からなんです。当時のあの出来事以来、「ありがとう」の言葉を大切に（自分に言い聞かせるように！？）し、常にお便りの題字に使ってきました。懐かしい思い出を振り返ってみたいと思います。

感謝の思いは、いくら心で思っても言葉にしなければ相手には伝わりません。私は、今から十数年前、妻からひどく叱られた時がありました。何のきっかけだったかは定かではありませんが、それは、ある日の夕食中、限界点に達した妻からの激しい言葉でした。『あなたは、感謝の言葉が足りないのよ。何をしてもらっても当たり前って思ってるんでしょ…。』でもその当時、私は、「いつだって感謝しているんだよ。でもあえて言葉にするのが照れくさくて…。」と心の中で言い訳をしていました。

私は、これまで「ありがとう」の言葉の大切さを、それほど気にかけていませんでした。言ったり言わなかったり、あるいは言ったつもりになっていたりと。相手は、きっと自分の気持ちを理解してくれているはずと思い込んでいたのかもしれませんが、でも、そんなわけはありませんよね。

そんな私に対して、妻の怒りが爆発してしまいました。私は、深い反省と共に、そのおかげで、改めて自分を顧み、言葉の大切さを学ぶことができました。



感謝の気持ちは、しっかり言葉で相手に伝えること。これまでの見方が変わることで、「ありがとう」の言葉を口にする機会が身の回りにたくさんあることに気がつきました。当然クラスでも、子どもが何気なくプリントを拾ってくれたとき、今日も元気に登校してくれてきたときなど、身の回りには「ありがとう」を伝える場面があふれています。感謝の言葉を口にするが増えると、他の色々なことにも感謝できる自分に成長できたように思います。だから、私にとって、「ありがとう」の言葉はとても大切であり、教師として常に子どもたちに伝え続けてきた言葉となりました。「ありがとう」の反対言葉は、「当たり前」です。子どもが学校に行くのが「当たり前？」ではなく、今日、学校に行って帰ってきたことが「有り難い」とことと受け止められると、それは「感謝」に変わります。

私たちはコロナ禍を経験して、様々な日常の「当たり前」が、実は「有り難い」ことであったと知ることができたように感じます。自分から、家族や身近な方々に一つ一つ感謝を伝えていくと、自分の周りからきっと感謝の輪が広がっていくはずですよ。

今日も子どもたちを送り出してくださっている保護者の皆様、交通指導をしてくださっている地域の皆様、ありがとうございます！ 元気に子どもたちが登校するのを、学校の先生方は毎日待っています。

今回で「ありがとう ころむ」は最終号となります。このような機会をいただいたことに、重ねて心より感謝申し上げます。平成26年度より当別小学校の教員として着任させていただいた後、とうべつ学園開校前年まで管理職として勤務させていただき、その後、縁あって教育委員会でお仕事をさせていただきました。約11年間、当別町の教育に携わらせていただけたことに改めて感謝申し上げます。この4月より、当別を離れ、新たな地で学校に戻って勤務することとなりました。どこの地にあっても、子どもたちの笑顔が広がる教育のために尽力してまいります。

これまでありがとうございました。



広 告

広 告

北島 すみれ
澄玲

ここに書ききれないエピソードや写真は
当別町ホームページ「現代を生きる^{プラス}」
でご覧ください。

経験と知識を積み重ね、
花のスペシャリストに！

地域おこし協力隊(農業支援員)として新規就農を目指し、令和6年4月から中田花園で研修を受けている北島澄玲さんに話をお聞きました。

農業への道

札幌市出身で当別高校の園芸デザイン科に進学し、その後、農業専門学校の八紘学園を卒業しました。農業の道を選んだのは高校進学時。進路を考えている時に、テレビで農業が取り上げられているのを見たり、農業に関する漫画を読んだりしたことで興味を持ち、農業関係の仕事に携わることを決めました。高校では、フラワーコースを選択し、花の栽培方法やフラワーアレンジメントを学ぶうちに、農業の中でも特に花を専門的に扱いたいと思うようになりました。

花が持つ^{きら}しさや煌めき、そして観る人に対して癒しを与えてくれるところが花の魅力だと思います。

また、高校生や専門学生の時に販売会をしたことがあり、お客さんと直接話をして、自分たちが育てた花を「可愛いね」と褒めてくれたのがとても嬉しかったです。

切り花と鉢花を育てたい

地域おこし協力隊は、専門学校で開かれた就農相談会で初めて知りました。農業関連の仕事を紹介する複数のブースがある中で、当別町のブースでは花関係の仕事の紹介があり、当別に通っていた経験と、担当の方が親切に説明をしてくれたことから興味を持ち応募しました。その後、切り花と鉢花の両方を生産している農家での研修を希望したところ、条件に合った中田花園で研修を受けることになりました。

1年を振り返って

現在、主に行っている作業は鉢花への水やりと、成長した苗を大きいポットに移し替える作業です。水やりの調整は難しく、自分が適切だと思った量が実際に必要な量と違うことがあるので、さらなる経験を積む必要があると感じています。夏は切り花と野菜の出荷で忙しく、出荷準備をして配達し、次の出荷準備に取り掛かる作業を繰り返すので、一日があっという間に過ぎてしまいます。

花の種類は数千種類もあるので、それぞれの栽培方法を覚える

ことはとても大変です。また、毎日の作業が多いので、効率的に作業ができるよう、中田花園の方から学びつつ、限られた時間の中で自分にとって最大限の仕事ができるように計画しながら作業をしています。

また、生産以外にも、花の市場で流通を学んだり、専門家の方からフラワーアレンジメントについて学んだりしました。花に関する様々な立場の人と話をし、生産以外のそれぞれ違った視点を知ることができたので、有意義な経験となりました。

今後の目標

高校生の頃から花の勉強をしてきたので、これからも経験と知識を積み重ね、花のことを熟知したスペシャリストになりたいと思っています。また、今年から花苗のハウスの管理を任されるので、販売できる高品質の花苗を作ることが一番の目標です。さらに、自分が育てた花を買ってもらうことにやりがいを感じるので、花の魅力を SNS などを通して多くの方に発信したいと考えています。そして何よりも、当別町での雇用就農を目指して頑張ります。



災害を知り 備える

危機対策課危機対策係 ☎23-3801

地震発生！！そのときあなたはどう行動する？

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいもの。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために、次の行動パターンを覚えておきましょう。

揺れを感じたら自分の身を守る

- ・座布団やクッションなどで頭を保護する
- ・机などの下に入って落下物や倒れてくる物から身を守る



揺れがおさまったら

- ・家族の安全を確認する
- ・怪我防止のために厚底のスリッパや靴を履く
- ・火元を確認し、火が出ていれば落ちついて初期消火をする
- ・避難経路を確保する

近所の安否確認・消火・救出活動

- ・隣近所で助け合う
- ・行方不明者がいないか、けが人がいないかを確認する
- ・ガスの元栓を閉める
- ・電気のブレーカーを落とす

正確な情報入手

- ・公的機関の情報を確認する
- ・デマに惑わされないように注意する
- ・電話は緊急連絡を優先する



協力して人命救助を最優先

- ・壊れた家には入らない
- ・無理はしない
- ・助け合いの心を持つ

広 告

◎自衛官採用案内

採用種目	応募資格	受付期間	試験期日
一般幹部候補生	22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	4月4日(金)まで	4月12日(土)、13日(日) ※2次試験有
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者	5月7日(水)まで	5月17日(土)～25日(日) ※2次試験有
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者	年間を通じて	受付時にお知らせ
予備自衛官補 ①一般公募 ②技能公募	①18歳以上52歳未満の者 ②18歳以上で国家資格等を有する者 (保育士、衛生、語学、整備、情報処理、通信、電気、建設 など)	4月8日(火)まで	①4月19日(土) ②4月20日(日)

メールでのお問合せは右記のQRコードから

▼詳細 自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所 ☎011-383-8955
役場環境生活課町民生活係 ☎23-3209



お知らせ

令和7年4月から带状疱疹予防接種の定期接種が始まります

令和7年度の対象

これまでに一度も带状疱疹予防接種を受けたことがなく、次の①～③のいずれかに該当する方

① 次の年齢の方（誕生日前でも接種は可能です）

- ・ 65歳（昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれ）
- ・ 70歳（昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれ）
- ・ 75歳（昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれ）
- ・ 80歳（昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれ）
- ・ 85歳（昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれ）
- ・ 90歳（昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれ）
- ・ 95歳（昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれ）
- ・ 100歳（大正14年4月2日～大正15年4月1日生まれ）

② 100歳以上の方（令和7年度のみ）

③ 60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害で日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方

※带状疱疹ワクチンを接種済みの方でも、医師が必要と認めた場合は令和7年度の定期接種対象となる場合があります。

使用するワクチンの種類と回数

種類	生ワクチン	組換えワクチン
接種回数	1回	2回（2か月以上の間隔を置いて）
料金	2,500円	1回につき6,500円
	生活保護世帯の方は無料	
期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	
実施医療機関	・ 健康ひろば（本誌P24）で確認ください ・ 入院や入所中などの理由により、町外の医療機関で接種を希望される方は事前に連絡ください	
注意事項	・ 事前に医療機関へ予約が必要です ・ 組換えワクチンは実施期間内に2回接種を完了させてください	
問合せ	保健福祉課健康推進係（ゆとり内・☎23-4044）	

歯科健康診査のご案内

町では次の方を対象に歯科健診を実施しています。受診には、受診票が必要となりますので健康推進係へ申込みください。令和8年3月31日までの実施期間中、1回利用できます。

成人歯科健診

歯周病は歯を失う原因の1位で、糖尿病をはじめとする生活習慣病等の全身の健康と深く関係しています。健康で長生きするためには、歯周病予防をはじめとして、お口の健康が重要です。まずは、歯科健診を受診して、歯とお口の状況を確認しましょう。

料金 500円（生活保護世帯の方は無料）

対象 次の表のとおり

対象年齢	生年月日
20歳	平成16年4月2日～平成17年4月1日
30歳	平成6年4月2日～平成7年4月1日
40歳	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日
50歳	昭和49年4月2日～昭和50年4月1日
60歳	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日
70歳	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日

後期高齢者歯科健診

高齢になると歯と口のトラブルが起こりやすくなります。「年だから…」といって軽視は禁物です。歯・口のはたらき（口腔機能）の衰えは、健康への悪影響を招き、フレイル（心身の衰弱）につながります。歯科健診で歯と口の健康チェックをして、フレイル

を防ぎましょう。

料金 500円

対象 町内在住の後期高齢者医療保険の加入者

健診実施機関

健診実施機関（住所）	電話番号
くろさわ歯科クリニック 北栄町39番地4	25-2888
当別駅前クリニック田西歯科 園生711番地	0120-89-6480
当別ファミリー歯科 白樺町5番地24	23-4618
ハート歯科 太美町1473番地12	26-4719
太美歯科クリニック 太美町1695番地188	26-2121
北海道医療大学歯科クリニック 金沢1757番地	23-1601
北海道医療大学病院 札幌市北区あいの里2条5丁目	011-778-7558

受診票の申込

健康推進係まで連絡いただくか、申込みフォームから申込みください。

問 保健福祉課健康推進係（ゆとり内・☎23-4044）



申込フォーム

人材育成基金活用推進事業の 申請を受け付けます

町では、活力と魅力に満ちたまちづくりを推進する人材を育成する事業に対して、補助金を交付しています。

補助対象者

町に1年以上在住または勤務している方やこれらの方で構成する団体が、令和7年度中に実施する次のような事業

- ① 自己形成のための教育・文化・産業等における調査研修事業（国内3日以上、国外5日以上）
- ② スポーツや文化・経済活動による交流事業（国内3日以上、国外5日以上）
- ③ 地域の活性化や文化・教養を高めるための講演会の事業で、効果が地域住民に還元されるもの

補助率

- ①・②：補助対象経費の3分の2以内（個人…国内10万円・国外50万円まで、団体：50万円まで）
- ③：補助対象経費の2分の1以内（50万円まで）

補助金を活用した事例



ビジネスセミナーの開催

セミナーを通して経済人としての素質を高めるとともに、名刺交換会で横のつながりを深め、当別町の地域活力回復の一助となる人材を育成するセミナーを開催。

当別町とレクサンド市に住む子どもたちに交流参加の機会を作り、姉妹都市との文化的交流が行われている事を町民に広く知ってもらうとともに、演劇文化に触れる機会を提供。



演劇交流発表会の開催

申請方法

セールス戦略課窓口や町ホームページからダウンロードできる申請書等を必ず事前相談のうえ、提出ください。

○ 申請期限 5月30日（金）【必着】

○ 内定 6月中を予定。

■ 申請先・問合せ セールス戦略課
ふるさとプロモーション係（☎23-3042）



町ホームページ

広 告

広 告

広 告

お知らせ

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について

固定資産税の納税義務者は、自分の所有する土地・家屋の評価額を町内の他の土地・家屋と比較するために、評価額などを記載した帳簿を縦覧できます。なお、縦覧帳簿の交付は行いません。

期間 4月1日(火)～6月30日(月) 8時45分～17時15分 ※土・日曜日、祝休日を除く **場所** 税務課資産税係 **料金** 無料 **縦覧** 【土地】所在・地番・地目・地積・価格、【家屋】所在・家屋番号・種類・構造・床面積・価格・建築年 **要件** 納税者および同一世帯の親族、納税管理人、代理人(委任状が必要)、借地・借家人(有償の賃貸借契約書等が必要)ただし、次に該当する場合は縦覧できません。①免税点未満の資産(少額のため課税免除された資産)、非課税資産のみを所有する場合 ②土地だけを所有する方が家屋の縦覧をする場合(逆の場合も同様) **持参** 本人確認ができるもの(マイナンバーカード、運転免許証など) **問** 税務課資産税係(☎23-2333)

禁煙ポスターを募集します

5月31日の「世界禁煙デー」にあわせて、喫煙が健康に及ぼす影響や健康に対する意識を高めるための取り組みとして、タバコの害を訴え、禁煙を呼びかけるポスターを募集します。募集内容・応募方法などは募集要項を確認ください。

部門 ① 一般の部：国内居住の一般の方(高校生を含む)、② 小・中学校の部：道内小・中学校の児童生徒 **締切** 5月15日(木) ※当日消印有効

発表 6月上旬に実行委員会ホームページで発表し、入選者(小・中学校の部は各学校)には通知します。※作品は原則返却せず、著作権は主催者に帰属します。 **問** 北海道禁煙週間実行委員会(☎011-222-3292、mail: eidanren@tempo.ocn.ne.jp)



募集要項

マイナンバーカード・電子証明書の更新は忘れずに

マイナンバーカードは10年(カード発行時の年齢が18歳未満の場合は5年)、カードに搭載されている署名用電子証明書と利用者証明用電子証明書には5年と、それぞれ有効期限があります。

該当の方には、有効期限の2～3か月前を目途に、地方公共団体情報システム機構から更新手続きの通知書が届きますので、更新を行ってください。

マイナンバーカードの更新

- ①通知書に同封されているマイナンバーカード交付申請書を利用し、WEBまたは郵送で地方公共団体情報システム機構へ申請してください。(申請方法は同封の説明書をご覧ください)
- ②1～2か月を目途に、マイナンバーカードの交付のご案内が役場から郵便で届きます。
- ③同封されている書類の予約フォームまたは予約電話番号へ電話して予約ください。
- ④受取日時に役場へ来庁し、マイナンバーカードを受け取ってください。

マイナンバーカードの電子証明書の更新

1. 通知書が届いたら、予約フォームまたは予約電話番号へ電話して予約ください。
2. 更新日時に役場または西当別支所(予約時に指定した場所)へ来庁し、更新を行ってください。



問 住民課戸籍年金係(☎23-2463) 予約フォーム

春の花咲くコンサート 2025 を開催します

とうべつ学園吹奏楽部とOBにより、クラシックの名曲から最新のヒット曲まで、様々なジャンルの曲を演奏します。

日時 5月4日(日) 14時～ **場所** とうべつ学園体育館 **料金** 無料 **持参** 上靴 **問** とうべつ学園吹奏楽部(豊田・☎23-2102)

広 告

広 告

お知らせ

西当別コミュニティセンターの管理運営が 指定管理者となります

現在、教育委員会が管理運営を行っている西当別コミュニティセンターは、4月1日からふれスポ with AMB が指定管理者となり管理運営を行います。

問 ふれスポ with AMB (☎ 22 - 3833)

6次産業化に向けた機械等導入費用の補助制度を創設しました

町では、農産物の付加価値を高めることなどを目的に6次産業化に取り組む農業者等に対し、施設や機械を導入する経費の一部を補助する「6次産業化施設・機械導入事業補助金」を創設しました。

事業の詳細は、4月中旬頃ホームページに掲載しますので、補助金の活用を検討される方は事前に相談ください。

補助対象者

町内に居住し、町内で営農している農業者や、町内に所在を置く農業者で構成される団体

補助率

補助対象経費の2分の1（補助上限額200万円）

問 農務課農政係 (☎ 23 - 3091)

令和7年度 再生可能エネルギー設備導入推進事業補助金の申請について

4月15日から申請を受け付けます。今年度は個人向け太陽光パネルの補助金を増額しました。

太陽光発電設備・蓄電池・ZEH・熱利用設備

対象 個人と事業者 **申込** 4月15日（火）～11月20日（木） **補助** 先着順で予算に達し次第終了。

種類	補助金額
太陽光	個人10万円/kW、事業者5万円/kW
蓄電池	対象経費の1/3 ※太陽光と同時申込みのみ。上限額があります。詳しくは問合せください。
ZEH	55万円
ZEH+	100万円
熱利用設備	対象経費の2/3（薪・ペレットストーブ 上限20万円）

寒冷地エアコン・エコキュート

対象 個人 **申込** 4月15日（火）～5月15日（木）
申込者多数の場合は、抽選。 **補助** 対象経費の1/2（上限20万円）

申込み

提出 役場3階 ゼロカーボン推進係、西当別支所の窓口と町ホームページからダウンロードできる申込書、見積書の写し、仕様書の写し。 **他** 申込書類に添付する申請の手引きなどを確認のうえ、申込みください。 **問** ゼロカーボン推進室ゼロカーボン推進係 補助金専用ダイヤル (☎ 27 - 5382)



町ホームページ

広 告

広 告

広 告

トイレの水洗化（合併処理浄化槽設置）費用を補助

下水道が整備されていない地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に係る費用の一部を補助します。

ただし、すでに設置工事に取り掛かっている場合は対象となりません。

対象 ①くみ取り式または単独浄化槽のトイレを合併処理浄化槽に換える工事、②新築住宅で合併処理浄化槽を設置する工事 **補助** 設置する浄化槽によって補助上限額が異なります。詳しくは町ホームページを確認ください。**問** 環

境生活課環境対策係（☎ 23 - 2503）



町ホームページ

水道の届け出を忘れずに

引っ越しなどで水道の使用停止や開始する時は、住民票の住所変更とは別に、水道の届け出が必要です。届け出は上下水道課窓口のほか、電話や電子申請でも受け付けています。

水道の使用停止の届け出がない場合、水道を使用していなくても水道料金・下水道使用料がかかりますので、忘れずに連絡ください。退去される際は凍結などの事故を防ぐため、水道の使用が終わり次第、水抜きをお願いします。また、所有者や使用者の死亡等による名義変更や建物を取り壊す場合なども、届け出が必要です。

問 上下水道課業務係（☎ 22 - 2411）

東裏体験農村公園（貸農園）の利用者を募集

手づくり、採れたての野菜の味は格別です。東裏体験農村公園で野菜を栽培してみませんか。

期間 5月上旬から10月31日（金）**場所** 旧東裏小学校隣 **区画** 1区画60㎡（約18坪）**料金** 6,000円 ※令和7年度から、2区画目以降は3,000円です。**設備** 簡易トイレ・上水道・手洗い場・駐車場 **条件** 畑はトラクターで耕起した後区画割をして貸し出します。作付けに必要な苗や用具などは持参ください。**申込** 4月22日までですが、期限後も相談に応じます。**問** 農務課耕地係（☎ 23 - 3096 / FAX : 23 - 3206）

国民年金への変更手続きはお済みですか？

20歳から60歳未満の方は国民年金への加入が義務付けられています。勤務先を退職されたときは、厚生年金から国民年金への変更の届出が必要です。退職された方に扶養されていた配偶者も国民年金への変更の届出が必要です。

基礎年金番号がわかるものと社会保険の離脱を証明する書類を持参し、年金事務所または役場の戸籍年金係で手続きください。

なお、離職を理由とした保険料免除を希望される場合は、雇用保険の離職票も持参ください。

問 札幌北年金事務所（☎ 011 - 717 - 4115）

広 告

広 告

広 告

お知らせ

明るく元気に仲間づくり・生きがいづくりを！ ことぶき大学受講生を募集します

ことぶき大学では、趣味の講座や健康・生きがいづくりの講演会、見聞を広げる視察研修、軽スポーツ、異世代との交流など楽しく学べる内容の講座を開催します。

日程 原則、5月～翌年3月の第2・第4金曜日 10時～12時 **会場** ゆとろ、白樺コミュニティセンターなど（外で行う講座もあります） **対象** 町内に在住する60歳以上の方で、定員は先着50名。

内容 定期講座21回の他に特別講座も予定しています。詳しくは白樺コミセン・西当別コミセン、総合体育館、図書館、役場、ゆとろに設置のチラシをご覧ください。 **料金** 5,000円（保険料等） **申込** 4月18日までに、チラシにある申込書を社会教育係に提出いただくか、申込フォームから。 **問** 社会教育課社会教育係（☎22-3834/FAX:23-3114）



申込フォーム

開催時の様子



パステルというカラフルな画材を使って作る「パステルアート」を制作しました。

令和7年度「高校生の短期留学海外姉妹都市ホームステイ研修事業」のお知らせ

町では、人材育成基金を活用し、高校生の短期留学によるホームステイ研修事業を実施します。

日程 11月の7日間程度でスウェーデン王国レクサンド市、ストックホルムの研修を予定しています。

※冬期休業期間中ではないため、学校を欠席する必要があります。

内容 ①現地での生活体験（ホームステイ）、②レクサンド高校での授業参加、③レクサンド市内、ストックホルム関係先訪問・視察など

対象 応募締切日時点で町に1年以上在住する高校生3名。

申込 5月30日までに、セールス戦略課窓口または町ホームページからダウンロードできる申込書に写真を貼付・必要事項を記載のうえ、日本語および英語で書いた作文を提出ください。

選考 1次試験：書類選考、2次試験：英会話等による面接試験

準備 研修が内定した方に、スウェーデンに関する基礎知識を習得してもらうため、事前研修に参加してもらいます。

問 セールス戦略課ふるさとプロモーション係（☎23-3042、mail:shinko@town.tobetsu.hokkaido.jp）



町ホームページ

「令和6年度に実施した研修は、広報とうべつ1月号、町ホームページに掲載しています。」



町ホームページ

広告

広告

広告

当別消防署からのお知らせ

令和7年 春の火災予防運動を実施します

当別消防署では、みなさんの火災予防に対する意識の向上を目指し4月20日から4月30日までの期間に「令和7年 春の火災予防運動」を実施します。期間中、消防車両での巡回パトロールや町内事業所での火災予防啓発パネルの設置、大型店舗前で火災予防を呼びかける店頭広報等を行います。

火災を起こさないために

火災の発生を事前に防ぎ、大切な命を守るために次のことを徹底しましょう！

- ①たこ足配線や配線類を束ねて使用しない
- ②コンセントやプラグの周りは定期的に清掃を行い、使用していないプラグは抜く
- ③たばこの吸殻は水で完全に消火してから捨て、寝たばこは絶対にしない
- ④ストーブの周りには燃えやすいものを置かない
- ⑤コンロ等の火を使用する場合はそばを離れない、また離れる場合は必ず消す
- ⑥火災の発生と拡大を防ぐためにも、部屋の整理整頓を心がけましょう

万が一、火災が発生してしまった場合、早期に発見することが重要になります。そのためには、住宅用火災警報器を設置し、正しく作動するか定期的に点検を行いましょう！

問 当別消防署予防課予防係（☎ 23 - 2537）

「未来のまち」を私たちでつくる Tobetsu Mirai Fes を初開催します

企画者・運営・ボランティアを募集します！

本番は8月中旬（8月10日～13日を予定）

「明るい未来へ向けたビジョンの発信」と「地域一体となって取り組んでいく仲間づくり」のきっかけとなる「Tobetsu Mirai Fes」を開催します。

8月中旬頃、当別町内で様々な団体、企業・個人が、当別町の未来に関わるフォーラムやセミナー、ワークショップなどを行い、体験したり、学んだり、キッチンカーで美味しいものを食べたり、夜は一緒に飲んだり、楽しく過ごす4日間をつくります。

当日参加はもちろん、自分もぜひ一緒にやりたい！お祭りを盛り上げたい！という方は 申込みください。

フェスの決起集会も開催します！

日時 4月28日（月）19時～21時 **日時** 田西会館
料金 3,000円

申込み

申込 4月20日までに、申込フォームから申し込めください。**問** 一般社団法人当別青年会議所事務局（☎ 23 - 2447、松岡・☎ 090 - 7514 - 0614）

企画者・運営者・
決起集会の申込フォームはこちら→



広 告

広 告

広 告

お知らせ

ロイズタウンの郵便番号が決まりました

4月1日に誕生する「ロイズタウン」の郵便番号は「061-3770」です。

問 事業推進課事業推進係（☎ 23 - 3198）

第25回当別町ゼロカーボン勉強会を開催します

今後の「未来のまち」に向けたゼロカーボン視点での私たちの取り組みについて、ディスカッションや企画などを行います。

日時 4月15日（火）19時～21時 **場所** ヤギ小屋

問 松岡（☎ 090 - 7514 - 0614）

町政功労者逝去

市川 正さん

令和7年3月6日逝去（81歳）

平成16年 町政功労者賞受賞

<経歴>

平成11年から平成31年まで当別町議会議員として、昭和62年から14年まで当別町農業委員会委員として、その他都市計画審議会委員、表彰審議会委員、民生委員推せん会委員、青少年問題協議会委員、国民健康保険運営協議会委員、農業生産対策協議会委員を歴任され、町政に寄与されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

寄付 寄贈

☆当別町ふるさと納税へ2月納入分

計1,904名から3,252万円ご寄付いただきました。ご寄付いただいた方の氏名等は町ホームページに掲載しています。

☆当別町企業版ふるさと納税へ

▼シン・エナジー株式会社

「再生可能エネルギー利用プロジェクトに対する寄付として」100万円

▼ホクレン農業協同組合連合会

「農業10年ビジョン推進プロジェクトに対する寄付として」100万円

☆当別町社会福祉協議会へ

▼高松 京子さん 手作りビーズストラップ 100個

▼故) 六角 英一さん 10万円

▼大崎 喜一郎さん 3万円

▼全久寺婦人会より 5万円

☆「愛の小箱」募金へ

▼株式会社田西会館より 5,254円



広告

広告

広告

HOT コミュニケーション

地域貢献活動感謝状を贈呈

2月11日に、岩田地崎建設株式会社（札幌市）が、とうべつ学園の「まなびのみち」上部の除雪に地域貢献活動として取り組みました。この活動に感謝し、2月27日に三澤教育長より感謝状を贈呈しました。同社は、



とうべつ学園の建設に携わっており「工事させていただいた地域の人たちとの接点を大事にしていきたい」と話されていました。

地域貢献活動感謝状を贈呈

北海道電力ネットワーク株式会社札幌北ネットワークセンター（札幌市）、株式会社北海電工札幌支店北技術センター（札幌市）の2社が、1月17日から4回にわたって町営住宅敷地内での除雪作業



に地域貢献活動として取り組みました。この活動に感謝し、2月27日に後藤町長より感謝状を贈呈しました。

博愛号が配置されました

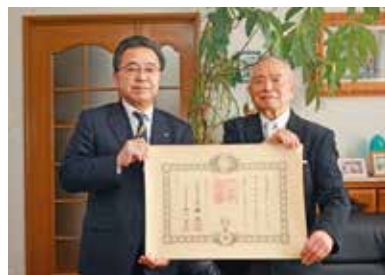
3月5日に、日本赤十字社から赤十字災害救援車「博愛号」が配置されました。「博愛号」は、各種災害に迅速かつ的確な救護活動を行うことや、日常での赤十字事業をより活発に実施するための車両で



す。自然災害・火災などの災害への出動はもとより、赤十字活動と地域福祉活動のために役立てていきます。

旭日単光章を受章

元町議会議員の村上弘志さんが、令和6年11月1日発令の高齢者叙勲で旭日単光章を受章され、3月21日に後藤町長から勲記、勲章が伝達されました。村上さんは昭和62年5月から平成15年4



月までの4期16年にわたり、町議会議員として建設常任委員会委員長等を歴任し、町の発展に貢献されました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

食と環境保護の新たな取り組み

2月22日と23日に、ふれあい倉庫カルチャーホールで「食」を通して、環境や社会のためにできる行動を考えるイベントとして「とうべつゆるエコマルシェ 2025」が開催されました。地産地消にこ



だわった食の販売やエコを楽しむ体験コーナーなどのブースがあり、来場者は食とともに環境保護の大切さを学びました。

韓国民画の魅力を体感

3月7日から9日まで、ふれあい倉庫で「高賢愛・^{コヒョネ・ミンファ}美しい絹アート 韓国民画展」が開催されました。韓国民画は、庶民の生活とともに発展した民俗絵画で、今回展示された作品は絹や麻などに炭で絵を描き、



絵の具を5、6回重ね塗りして制作したもの。訪れた人は「色彩が綺麗で、目の保養になる」と話されていました。

交流を通してボランティアに広がり

3月15日に、町内でボランティアを登録している方を対象とした「ボランティアのつどい」がゆとろで開催されました。北海道医療大学モルックサークルの学生2名が講師となり、参加者31名が6



チームに分かれてモルックで競い合い、1投ごとに「上手!」「惜しい!」の声が飛び交うなど、盛り上がっていました。

大迫力のエレクトーンライブ

3月22日にふれあい倉庫で、当別町文化公演事業「川上天馬エレクトーンライブ」が開催されました。誰もが知る歌謡曲を巧みな編曲で披露する一方で、川上さんオリジナル楽曲による圧倒的な演奏技



術で観客を魅了。手拍子やコールで川上さんと観客が一体となり、派手な照明演出も加わり、会場は熱気に包まれました。

広 告

広 告

お知らせ



【営業時間】

9 時～ 18 時

定休日 月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）

【施設情報】

住所 錦町 294-4

電話 27-6600

【貸館について】

カルチャーホール・パン工房・多目的ホール・控室を使用することができます。

※使用をご希望の場合は、町ホームページまたはふれあい倉庫に備え付けの申請書に記入のうえ、ふれあい倉庫まで提出をお願いします。



町ホームページ



Instagram やってます！
イベントや旬の情報を発信中！

営業時間変更と GW の休館日について

4 月 1 日から夏季営業時間に変更されます。

▼夏季営業時間 9 時～ 18 時

▼GW 中の休館日 4 月 28 日(月)

柑橘類を入荷しています

姉妹都市である愛媛県宇和島市から直送の柑橘を順次入荷します。文旦・河内晩柑・紅甘夏・はるか等“爽やかな味わい”の柑橘が盛り沢山。また、柑橘果汁を使用したゼリーやジュースもありますので、ぜひご賞味ください。

とうべつ EZOCA ポイント

現金での買い物に EZOCA ポイントを付与しています。

100 ポイント単位で買い物に使えますのでご利用ください。詳しくは店舗スタッフまで。

そうざい BANZAI フェス キッチンカーフェス

町内外から出店者が集まり、春限定の商品をご用意します！

▼日時 4 月 13 日(日) 10 時～ 15 時

▼問合せ 当別町商工会（☎ 23 - 2447）

2025 琥珀の エクスペリエンス

ウイスキーに関する講座やテイasting会を開催します。講座は受講前日までに申込みください。
▼日時 4 月 16 日(水)～ 20 日(日)【ウイスキー入門講座】13 時～ 14 時、【シングルモルトを楽しむ講座】15 時～ 16 時、【ウイスキーテイasting会】17 時～ 21 時 ※詳しくはホームページを確認ください。

▼申込み先 mail:hills.no.mori@yahoo.ne.jp

▼問合せ 森田（☎ 090 - 2889 - 8491）



琥珀のエクスペリエンスホームページ

広 告

広 告

広 告

お知らせ



【3月～11月の営業時間】

本館 9時～17時

レストラン 11時～16時 L.O.

セブイレブン 24時間営業、無休

農産物直売所 4月11日 OPEN
9時～16時45分

【施設情報】

住所 当別太 774-11

電話 27-5260

FAX 27-5261

Mail hello@tobest.co.jp

道の駅とうべつ

Instagram →



道の駅とうべつ

公式ホームページ →



New! お土産販売開始



当別町産の食材を、老若男女問わずたくさんの方に広めたいという思いからコラボしたのは、札幌円山に店を構えるパフェクリエイターの佐藤さんとイラストレーターの YUKKY さん。

当別町産の小麦粉「きたほなみ」を使用し、添加物を一切使用していないクッキーをつくりました。味は、発酵バター、ショコラ、当別産かぼちゃの3種類。それぞれクッキーの型にもこだわり、当別町や道の駅をデザインに取り入れました。

自分へのご褒美やちょっとした贈り物に、道の駅とうべつでしか手に入らない完全オリジナルのクッキーを、ぜひご賞味ください。

はなポッケ OPEN



今年もたくさんのおいしい当別の新鮮野菜や、苗物、切り花が店頭に並びます。

オープンを記念して、商品をご購入の方に4月11～13日までの3日間でチューリップ1輪をプレゼント！1日100本限定です。

▼営業再開日 4月11日（金）
9時～

春の当別グルメ

旬の野菜やフルーツを使った春ならではの期間限定メニューが登場します！

詳しくはSNSをご覧ください。
▼期間 4月19日（土）～5月11日（日）

広告

広告

広告

広告

当別高校 街を教室に活動中！

ネバギバクエストを開催しました

3月19日に「ネバギバクエスト」と題し、普通科の1・2年生による探究発表会が開催されました。体育館のステージには、当別をアートタウンにする取り組みをしているチームが作成した立体文字が設置され、来場者を出迎えました。

全14グループがブースに分かれ、8分の持ち時間で3回ずつ発表した後、探究活動の発展を目的に、来場者と生徒との対話時間が設けられ、有意義な対話が行われました。



生徒の発表では、廃線を活用したフットパス

や、あそ雪の広場でのスカイランタンなどの取り組みが紹介され、これらの企画は、来年度にも引き継がれる予定ですので、ご期待ください。



活動に関する詳細
はこちらから
ご確認ください→



当別高校ホームページ



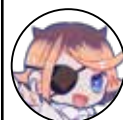
当別高校 Instagram

広 告

広 告



登場人物



ト〜ベツさん…新しい道員はワクワクする



ニシトーさん…制服って楽だと思う

各種健診等のご案内

健診等の日程は p.26
町内イベントカレンダー
をご覧ください。

町のホームページからでも

確認できます→

<注意>

- ・乳幼児健診と BCG 予防接種は対象者へ個別にご案内します。
- ・健診を希望する方は、健診日の 1 週間前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

乳幼児健診
各種事業

各種健康診査

休日・夜間の受診先

<休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番
をご利用ください。詳細は p.26 町内イベントカ
レンダーをご確認ください。

町のホームページからでも

確認できます→



急病当番医

※医療機関の都合により、変更となる場合があります。
最新情報は新聞紙上や救急安心セン
ターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情
報システムでご確認ください。

急病時・夜間の相談先

■救急安心センターさっぽろ

24 時間・365 日、看護師が相談に対応。受診可能
な医療機関をご案内します。

・電話番号 # 7119 または 011 - 272 - 7119

■こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等か
ら受けられます。診断・治療はできません。

・受付時間 19 時～翌朝 8 時

・電話番号 # 8000 または 011 - 232 - 1599

■北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を 24 時間（年末年
始などの連休も可）検索できます。

・フリーダイヤルは 0120 - 20 - 8699

・携帯電話からは 011 - 221 - 8699

・インターネット検索は <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

<夜間>

■江別市夜間急病センター 内科 小児科

・住 所 江別市錦町 14 - 5

・受付時間 18 時 30 分～翌朝 6 時 30 分（年中無休）

・電話番号 011 - 391 - 0022

■勤医協中央病院 内科

・住 所 札幌市東区東苗穂 5 条 1 丁目 9 - 1

・受付時間 19 時～翌朝 9 時（年中無休）

・電話番号 011 - 782 - 9111

近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。
少し遅い時間に診療している医療機関もありますの
でご確認ください。

予防接種（個別） 実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種					健診 特定健診・ 後期高齢者健診・ 肝炎ウイルス検診
		5 種混合・ 水痘・MR・ DT	小児肺炎球菌・ B 型肝炎・ ロタ	日本脳炎	子宮頸 がん	高齢者 肺炎球菌・ 带状疱疹	
勤医協当別診療所	23 - 3010	●		●		●	●
さいわい内科消化器クリニック	27 - 7591					●	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25 - 3151	●	●	●	●	●	●
田園通りさわぎき医院	25 - 2055	●	●	●		●	●
当別あんしんクリニック（予約は WEB）	27 - 8012	●	●	●	●	●	●
とうべつ内科クリニック	22 - 1313					●	●
とうべつ整形外科	25 - 5040			6 歳～	●	●	
北海道医療大学病院（札幌市北区）	778 - 7575	●	●	●	●	●	●

※小児科定期予防接種（子宮頸がん除く）は、江別市内の小児科 6 カ所でも接種可能です。

こんにちは 当別町地域包括支援センターです！

地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合的な相談に対応することで、保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援することを目的として、全国的に設置されており、当別町では、ゆとろの中に設置されています。

高齢者の暮らしの総合相談窓口

介護保険のことだけでなく、生活をするうえでの悩みや不安など、さまざまな相談を受け付けています。一緒に考え、必要な情報提供や適切な関係機関につなげる等、いきいきとした暮らしができるようにサポートします。

こんな相談が寄せられます



足腰が弱ってきて外出が大変になってきた…



最近もの忘れが増えてきて認知症が心配…



家での介護が大変になってきた…介護サービスを使いたい！

高齢者の権利を守ります

認知症などで判断能力が不確かになり、自分の財産や日々の金銭管理、介護サービスの利用契約が難しくなった時には、成年後見制度をはじめとする適切な支援につながるお手伝いをします。

また、高齢者虐待の早期発見・防止を進めます。

いつまでも元気に！介護予防をすすめます

介護申請後、要支援1・2と認定された方や介護が必要となるおそれ（フレイル状態）のある方へ、一人ひとりの状況に合わせた介護予防プランを作成し、重度化を防ぐための介護予防サービスが利用できるように、支援します。

関係機関とのネットワークを作ります

住み慣れた地域で安心して暮らすために、ケアマネジャー、医療機関、社会福祉協議会、地域支援者などの関係機関とのネットワーク作りを進めています。

センターの職員体制と目標

現在、当別町地域包括支援センターは、社会福祉士や保健師、主任ケアマネジャーなど専門職5人体制で活動しています。専門的視点と地域住民の目線で、困っている方の日常生活を地域で支援することを目標にしています。

相談には来所のほか、電話や西当別支所からのオンライン相談、職員の訪問等あらゆる方法で対応します。また、ご家族からの相談もお受けしています。気軽に相談ください。

▼問合せ 当別町地域包括支援センター（☎25-5152、ゆとろ内⑤番窓口、建物正面玄関を入り一番右奥のカウンター）

広 告

町内イベントカレンダー 4月

月	火	水	木
	1	2	3 老暮の会（毎週木曜日開催） ゆとろ 13時～16時 フレイル予防教室ふとみ（要予約） 西コミ 9時30分～11時
7	8 フレイル予防教室（要予約） ゆとろ 9時30分～11時	9	10 行政相談窓口開設 消費生活相談室 10時～12時 法律相談（要予約） ゆとろ 13時30分～
14	15 第25回当別町ゼロカーボン勉強会 【詳細 P18】 かすみ草の集い 西コミ 10時～12時	16 2025 琥珀のエクスペリエンス 【詳細 P21】 すくすく相談（要予約） ゆとろ 10時～16時 移動献血車 ①役場 14時～16時30分 ②宮永建設株式会社 14時45分～15時30分 ③辻野建設工業株式会社 16時～16時30分	17 フレイル予防教室ふとみ（要予約） 西コミ 9時30分～11時 年金事務所出張相談（要予約） 商工会館 10時～15時
21 友遊会 ゆとろ 10時～12時 Dカフェ ゆとろ 13時30分～15時	22 フレイル予防教室（要予約） ゆとろ 9時30分～11時 健診結果説明会 ゆとろ 9時30分～12時	23 歯科健診・フッ素塗布（要予約） ゆとろ 13時20分～15時40分 教育委員会定例会 役場 14時～	24 4か月・10か月児健診 ゆとろ 13時～14時 BCG接種 ゆとろ 13時20分～13時40分
28 農業委員会総会（要予約） 第二庁舎 16時～	29 <江別市急病当番医> ゆきざさ循環器内科 ♠ 384-1000、8時30分～17時	30 健診結果説明会 ゆとろ 9時30分～12時	1
5 <江別市急病当番医> 緑苑クリニック ★ 381-6490、9時～17時 ウルトラ内科小児科クリニック ♥ 688-8801、9時～17時	6 <江別市急病当番医> むらかみ内科クリニック ♠ 387-1555、8時30分～17時	7	8 法律相談（要予約） ゆとろ 13時30分～

当別町役場

平日8時45分～17時15分
白樺町58番地9
(☎ 23-2330)

戸籍・住民票・印鑑証明
住民課戸籍年金係
(☎ 23-2463)

国民健康保険・後期高齢者医療
住民課国保・後期高齢者医療係
(☎ 23-2467)

住民税・軽自動車税
税務課税務係
(☎ 23-2332)

所得（課税）証明
税務課税務係
(☎ 23-2332)

固定資産税・評価（公課）証明
税務課資産税係
(☎ 23-2333)

納税相談・納税証明
税務課納税係
(☎ 23-2341)

消費生活相談
環境生活課町民生活係
(☎ 23-3209)

ごみ・リサイクル
環境生活課環境対策係
(☎ 23-2503)

上水道・下水道
上下水道課業務係
(☎ 22-2411)

町営住宅
建設課建築住宅係
(☎ 23-3147)

西当別支所

平日8時45分～17時15分
太美町1470番地4
サツドラ当別太美店内
(☎ 26-3190)

各種証明発行
各種税金・料金収納
ごみ処理依頼書交付 など

※日程や会場が変更となる場合がありますので、
最新情報はホームページなどでご確認ください。

金	土	日
4	5	＜江別市急病当番医＞ 深和会江別病院 ★ 382－1111、9時～17時 よしなりこどもクリニック 391－4470、9時～17時
移動献血車 ①下段モータース 9時30分～11時 ②北海道医療大学 11時30分～16時30分	12	そうざいBANZAI フェス・キッ チンカーフェス 詳細 P21 ＜江別市急病当番医＞ 平賀内科クリニック ♠ 382－5989、8時30分～17時
18	19	＜江別市急病当番医＞ 高橋内科医院三番通りクリニック ★ 387－7788、9時～17時 江別市立病院 ♥ 382－5151、8時30分～17時
25	26	＜江別市急病当番医＞ 江別谷藤病院 ★ 382－5111、9時～17時 松尾こどもクリニック ♥ 384－8819、9時～17時
2	3	春の花咲くコンサート 2025 詳細 P13 ＜江別市急病当番医＞ 江別内科クリニック ★ 381－8900、9時～17時 あずま子ども家庭クリニック ♥ 385－2500、9時～17時 ＜江別市急病当番医＞ アウル内科クリニック ♠ 383－3456、9時～17時
1歳6か月・3歳児健診 ゆとろ 13時～14時	10	＜江別市急病当番医＞ たぐち内科クリニック ★ 389－7855、9時～17時 おおあさ鈴木ファミリークリニック 386－5303、9時～17時

各種連絡先

法律相談
ゆとろ・保健福祉課福祉係
(☎ 23－3019)

年金事務所出張相談
札幌北年金事務所予約窓口
(☎ 011－717－4112)

心の健康相談
女性の健康相談
江別保健所
江別市錦町4番地の1
(☎ 011－383－2111)

ひきこもり相談
当別町社会福祉協議会
西町32番地2 ゆとろ内
(☎ 22－2301)

障がい相談
障がい者総合相談支援センター
ななかまど 弥生51番地38
(☎ 23－1917)

各種施設

総合体育館
月曜日休館
(祝日の時は翌日)
9時～21時30分
白樺町2792番地
(☎ 22－3833)

白樺コミュニティセンター
月曜日休館(祝日の時は翌日)
9時～21時
白樺町2792番地1
(☎ 23－2511)

西当別コミュニティセンター
月曜日休館(祝日の時は翌日)
9時～22時
太美町22番地7
(☎ 26－3300)

当別町図書館
月曜日休館(祝日の時は翌日)
10時～17時
錦町1248番地7
学習交流センター内
(☎ 23－0573)

当別町図書館西当別分館
月曜日休館(祝日の時は翌日)
10時～21時(閲覧以外は17時まで)
太美町22番地7
西当別コミュニティセンター内
(☎ 26－3300)

ゆとろ

平日8時45分～17時15分
西町32番地2
(☎ 25－2661)

各種健診・健康相談
保健福祉課健康推進係
(☎ 23－4044)

児童手当・子ども医療費助成
保健福祉課福祉係
(☎ 23－3019)

介護サービス
介護課介護保険係
(☎ 23－3029)

高齢者支援サービス
介護課高齢者支援係
(☎ 27－5131)

障がい者(児)福祉
介護課障がい支援係
(☎ 25－2665)

あそびのひろば・子育て相談
子ども未来課子育てサポート係
(☎ 25－2658)

福祉総合・介護・認知症相談
地域包括支援センター
(☎ 25－5152)

コロナ

コロナウイルスワクチン
接種全般の相談
保健福祉課健康推進係
(☎ 23－4044)

※江別市急病当番医について (市外局番 011)

★…内科のみ、♥…小児科のみ、♠…乳児事前連絡必要

涙と笑顔の卒業式

3月13日 とうべつ学園、西当別中学校

穏やかな春風が吹き抜ける中、町内の学校で卒業式が開催されました。とうべつ学園 57 名、西当別中学校 50 名の生徒が卒業証書を授与され、思い出の学校を卒業。卒業生の合唱では、3 年間の思い出を振り返りながら涙を流す生徒も多く、保護者や教員、在校生の心にも残る場面となりました。式のあとには、教室で最後の学活が行われ、最後の思い出作りをする様子も。卒業生たちは新たな一歩を踏み出しました。



過去と現代を繋ぐ物語

3月16日 ふれあい倉庫

町民劇団 Colos による公演「2025 年のクニさん」が行われ、2 回の公演で約 120 名が観劇しました。当別町開拓の祖伊達邦直公が、現代の当別町へタイムスリップし、子どもたちと遭遇する物語を、開拓した際の苦悩や喜びは迫真の演技で、現代での子どもとのやり取りはコミカルに表現していました。また、幕間には当別太鼓の演奏が華を添え、迫力あるパフォーマンスで観客を魅了していました。



町公式ホームページ・SNS

ホームページ X (旧 twitter) Facebook

LINE



@town_tobetsu

■人の動き 3月1日現在 ※ () は前月との比較

人口 15,071 人 (20 人減)

男 7,378 人 (5 人減)

世帯 7,770 世帯 (8 世帯減)

女 7,693 人 (15 人減)

編集・発行 当別町デジタル都市推進課広報広聴係 広報「とうべつ」4月号 令和7年4月1日発行 通巻859号

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。